社会資本総合整備計画　　事後評価書

令和05年03月17日

計画の名称	圏央道・新国道４号を軸とした茨城埼玉交流圏域活性化計画
計画の期間	平成２８年度　～　令和０２年度　(5年間)　　重点配分対象の該当
交付対象	埼玉県
計画の目標	茨城県と埼玉県を東西に連携させる首都圏中央連絡自動車道の開通と、南北に連携させる国道４号（春日部古河バイパス）の４車線化整備により、両県の２つの主軸として効率的なネットワークが形成された。この交通流の変化を契機に、県境を越えた交流・連携した取組により地域の価値を高め、魅力あふれる圏域づくりを進めていくことにより、新たな観光ルートの設定や各観光施設間の連携強化を図る。

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	1,244	A	1,244	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H26)	(H30末)	(R2末)
1	【茨城県・埼玉県　共通目標】　観光入込客８，２３３千人(H26)から８，３３１千人(R2)に１.2%増加を目標			
	【茨城県・埼玉県　共通目標】観光客数 （観光客の増加割合）＝（評価時点の観光客数　－　H26の年間観光客数）／（H26の年間観光客数）	8233千人	8297千人	8331千人
2	うち、埼玉県（茨城埼玉交流圏域内）においては、観光入込客数を７，６０８千人（H26）から７，７００千人（R2）を目標			
	茨城埼玉交流圏域における観光客数 （観光客の増加割合）＝（評価時点の観光客数　－　H26の年間観光客数）／（H26年間観光客数）	7608千人	7669千人	7700千人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

【評価の実施予定】　中間： 平成31年3月予定　事後： 令和3年3月予定

案件番号：　0000472716

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	R02	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-001	道路	一般	埼玉県	直接	埼玉県	都道府県道	改築	（一）幸手境線・権現堂	1.4㎞（バイパス）	幸手市	■	■	■	■	■	808		－
	A11-002	道路	一般	埼玉県	直接	埼玉県	都道府県道	改築	（一）蓮田杉戸線・新橋通り	0.9㎞（バイパス）	杉戸町・宮代町	■	■	■	■	■	0		－
	A11-003	道路	一般	埼玉県	直接	埼玉県	都道府県道	改築	（一）蓮田杉戸線・黒浜バイパス	0.6㎞（バイパス）	蓮田市	■	■	■	■	■	176		－
	A11-004	道路	一般	埼玉県	直接	埼玉県	都道府県道	改築	（一）加須幸手線・大桑鷲宮バイパス	2.4㎞（バイパス）	久喜市・加須市	■	■	■	■	■	70		－
	A11-005	道路	一般	埼玉県	直接	埼玉県	S街路	改築	（都）杉戸久喜線・春日部久喜線・和戸	0.2㎞（バイパス）	宮代町	■	■				190		－
	A11-006	推進事業	一般	埼玉県	直接	埼玉県	－	－	茨城埼玉交流圏広域観光推進事業	パンフレットの作成　等	圏域全体					■	0		－
		3-A1-201																	
											小計						1,244		

案件番号：　0000472716

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	H31	R02	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						1,244		

案件番号： 0000472716

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業主体にて評価を実施し、その結果を埼玉県県土整備部公共事業評価検討会議及び埼玉県公共事業評価監視委員会に報告し参考意見を聴取する	令和4年10月
	公表の方法
	埼玉県県土整備部道路街路課のホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	最終目標値は達成できなかったものの、一定の成果は見られており、圏央道、国道4号を軸とした、県境を超えた交流・連携した取組により地域の価値を高め、魅力あふれる圏域づくりを進めたことにより、新たな観光ルートの設定や観光施設間の連携強化に大きく貢献できたと考えられる。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

次期計画の「大観光時代に対応した広域的観光活性化計画（重点③）（R3～R7）」にて、引き続き、基礎的な観光力の向上に資する道路整備を図る。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	8,331千人		
	最　終 目標値	8331千人	目標値に対して、127万3千人（15.3%）の減少となった。平成29年度から令和元年度にかけては目標値を上回ったが、令和２年度は目標値を下回った。原因としては、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等の影響で、人流が抑制されたことが考えられる。
	最　終 実績値	7058千人	
2	7,700千人		
	最　終 目標値	7700千人	目標値に対して、292万2千人（38.0%）の減少となった。平成29年度から令和元年度にかけては目標値を上回ったが、令和２年度は目標値を下回った。原因としては、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等の影響で、人流が抑制されたことが考えられる。
	最　終 実績値	4778千人	

案件番号：0000472716

様式3

社会資本総合整備計画　　中間評価書

令和 2 年　2月 17 日

計画の名称	圏央道・新国道４号を軸とした茨城埼玉交流圏域活性化計画
計画の期間	平成２８年度　～　令和２年度　（５年間）
交付対象	埼玉県

計画の目標

・茨城県と埼玉県を東西に連携させる首都圏中央連絡自動車道の開通と、南北に連携させる国道４号（春日部古河バイパス）の４車線化整備により、両県の２つの主軸として効率的なネットワークが形成された。
・この交通流の変化を契機に、県境を越えた交流・連携した取組により地域の価値を高め、魅力あふれる圏域づくりを進めていくことにより、新たな観光ルートの設定や各観光施設間の連携強化を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

①【茨城県・埼玉県　共通目標】　観光入込客８，２３３千人(H26)から８，２９７千人(H30)に０．８%増加
②埼玉県（茨城埼玉交流圏域内）においては、観光入込客数を７，６０８千人（H26）から７，６６９千人（H30）に０．８%増加

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H26）	中間目標値（H30末）	最終目標値（R2末）	備考
①【茨城県・埼玉県　共通目標】観光客数	①8,233千人	①8,297千人	①8,331千人	
観光客の増加割合）＝（評価時点の観光客数　－　H26の年間観光客数）／（H26の年間観光客数）	―	0.8%	1.2%	
②埼玉県（茨城埼玉交流圏域）における観光客数	②7,608千人	②7,669千人	②7,700千人	
観光客の増加割合）＝（評価時点の観光客数　－　H26の年間観光客数）／（H26年間観光客数）	―	0.8%	1.2%	

拠点施設・重点地区

権現堂公園、東武動物公園、騎西城、鷲宮神社、道の駅きたかわべ、道の駅童謡のふるさとおおとね、道の駅アグリパークゆめすぎと、道の駅庄和

全体事業費（計画）（百万円）	合計（A＋B＋C）	A	B	C	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）
	3,879	3,849	0	30	0.8%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制

策定主体にて評価を実施し、その結果を県土整備部公共事業評価検討会議に報告し参考意見を聴取した。

事後評価（中間評価）の実施時期

令和2年1月

公表の方法

埼玉県県土整備部道路街路課のホームページ掲載

１．交付対象事業の実施状況

交付対象事業

A　道路事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別	省略工種	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	R1	R2	全体事業費（実施）（百万円）	事業進捗	備考
A11-001	道路	一般	埼玉県	直接	―	都道府県道	改築	（一）幸手境線・権現堂	1.4km（バイパス）	幸手市						302	△	一部未実施
A11-002	道路	一般	埼玉県	直接	―	都道府県道	改築	（一）蓮田杉戸線・新橋通り	0.9km（バイパス）	杉戸町・宮代町						0	△	一部未実施（県単対応）
A11-003	道路	一般	埼玉県	直接	―	都道府県道	改築	（一）蓮田杉戸線・黒浜バイパス	0.6km（バイパス）	蓮田市						92	△	一部未実施
A11-004	道路	一般	埼玉県	直接	―	都道府県道	改築	（一）加須幸手線・大桑鷲宮バイパス	2.4km（バイパス）	久喜市・加須市						38	△	一部未実施
A11-005	道路	一般	埼玉県	直接	―	S街路	改築	（都）杉戸久喜線・春日部久喜線・和戸	0.2km（バイパス）	宮代町						190	○	完了
															小計（○○事業）	622		
															合計			

様式3

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名地区名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	R1	R2	全体事業費（実施）（百万円）	事業進捗	備考
												合計					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名地区名	事業実施期間（年度） H28	H29	H30	R1	R2	全体事業費（実施）（百万円）	事業進捗	備考
A11-006	道	一般	埼玉県	直接	―	―	茨城埼玉交流圏広域観光推進事業	パンフレットの作成　等	圏域全体						0	×	次年度実施予定
														合計	0		

番号		備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ　定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

入込観光客数は着実に増加してきており、道路整備による周遊性の向上が観光客数の増加に貢献している。
【参考指標】
①県外からの観光入込客数推移（全県）　＋３３％　（平成２６年度→平成３０年度）

Ⅱ　定量的指標の達成状況

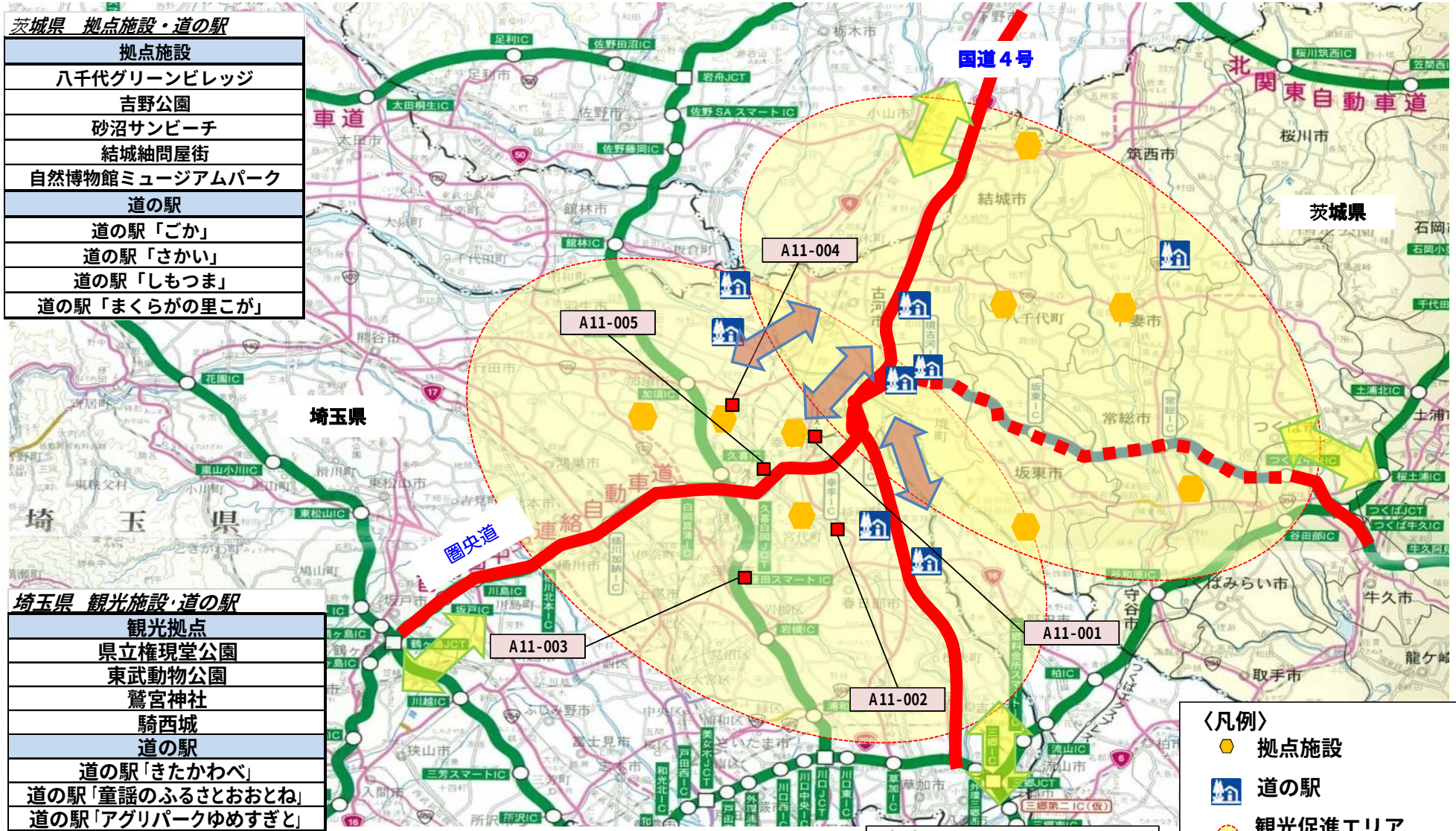
指標①【茨城県・埼玉県共通目標】観光客数	中間目標値	８，２９７千人（０．８%）	目標値と実績値に差が出た要因	茨城埼玉両県における観光客数を集計した結果、増加傾向を示しており道路整備による効果が確認できる。
	中間実績値	９，２５４千人（１２．４%）		
指標②埼玉県(茨城埼玉交流圏域)における観光客数	中間目標値	７，６６９千人（０．８%）	目標値と実績値に差が出た要因	首都圏中央連絡自動車道の周辺道路が整備されたことにより、観光拠点へのアクセス向上が図られたことで、観光客数が増加したと考えられる。
	中間実績値	８，４７４千人（１１．４%）		

3．特記事項（今後の方針）

今後、実施する事後評価結果を踏まえ、次期計画にて、引き続き両県の観光地間の周遊性を高める道路整備や、ＩＣや観光施設までのアクセス性を向上させる道路整備を推進し、茨城埼玉交流圏域の活性化を図る。

事業箇所図

計画の名称	圏央道・新国道４号を軸とした茨城埼玉交流圏域活性化計画		
計画の期間	平成28年度　～　平成32年度　（5年間）	交付対象	埼玉県（茨城県と連携）



茨城県　拠点施設・道の駅

拠点施設
八千代グリーンビレッジ
吉野公園
砂沼サンビーチ
結城紬問屋街
自然博物館ミュージアムパーク
道の駅
道の駅「ごか」
道の駅「さかい」
道の駅「しもつま」
道の駅「まくらがの里こが」

埼玉県　観光施設・道の駅

観光拠点
県立権現堂公園
東武動物公園
鷲宮神社
騎西城
道の駅
道の駅「きたかわべ」
道の駅「童謡のふるさとおおとね」
道の駅「アグリパークゆめすぎと」
道の駅「庄和」